

IV 良質な個別サービスの実施(障害児施設:通園サービス)

【評価項目】		a	b	c	Na	判断の理由
A-1 子どもの尊重						
(1) 子どもの尊重						
1	1	○				山口県発達障害者支援センターからの専門的な助言・指導を受けて、子どもたちの個々の状況に応じた個別のコミュニケーション手段を確保するための支援や工夫に取り組んでいる。
2	2	○				子どもの担当職員を決めて、個々の状況を把握し、子どもの主体性を尊重しつつ支援している。また、保護者が設置されており、交流・連携を図りながら、子どもの発達を図るための必要な支援を行っている。
3	3	○				個別支援計画等により、個々の特性に合わせた支援がなされ、子どもの自主性・主体性を尊重した「待つことの大切さ」などが共通理解されていることが確認できた。声かけ・見守りと支援の体制は整備されている。
4	4		○			個々の支援目標はあるものの、そのための具体的な支援プログラムは明確に示されていない。事業所外の社会資源の活用も十分なされているとは云い難いのでb評価とした。これを機に、子どもの発達に必要な学習や体験について再確認されたい。
(2) 子どもの権利擁護						
5	1		○			虐待に関する取り組みマニュアルは現在策定中である。子どもの権利擁護のための具体的な取り組みは個々の場面では行われてはいるものの、組織としての体制の整備は不十分と判断し、b評価とする。
(3) 保護者との連携・交流						
6	1	○				職員からの聞き取りや「利用者家族等アンケート」の結果からも、保護者との連携・交流は様々な場面において適切に行われており、信頼関係も構築されていると判断した。
(4) 生活環境づくり						
7	1	○				各部屋には床暖房設備が整備され、温度・湿度にも配慮している。また温水プールも設置されている。ペーパータオルを使用するなどして衛生面での配慮もあり、子どもが過ごしやすい環境づくりに取り組んでいる。
A-2 日常生活支援						
(1) 食事						
8	1	○				個別支援計画に基づき、個々の子どもの発達状況や身体状況に応じた食事を提供している。そのことは、『子どもの特性に応じて食事が提供されているので安心』などの「利用者家族等アンケート」における記述からも確認できた。
9	2	○				嗜好調査を実施するなどして、子ども一人ひとりの発育状況に応じた献立や調理を工夫している。「カレーライスとして出すと食べない子どもが、カレーとご飯を分けて出すと食べた」など、子ども一人ひとりをしっかり把握して食事の提供をしている。
10	3	○				温かみのある食器を使用したり、盛り付けや彩りに工夫した献立や、各種の行事食も積極的に取り入れており、子どもが楽しみを持って食べることができるよう創意工夫し対応している。

【 評価項目 】		a	b	c	Na	判断の理由
(2) 排泄						
11	1	排泄介助は子どもの障害程度や介助方法など個人的事情に配慮している。	○			子ども個々の特性による排便方法に配慮したり、必要に応じた器具機材も整備されている。排泄介助の結果も適切に記録されており、また衛生面への配慮も徹底されている。
12	2	トイレ環境に配慮している。	○			個々の子どもの状況に対応できるトイレ機材・器具等を整備し、清掃も担当者を決めて毎日、清潔・衛生の保持に取り組んでいる。トイレ環境は子どもたちにとって十分に配慮されたものとなっている。
(3) 衣服						
13	1	衣類の着替え時の支援や汚れに気づいた時の対応は適切である。	○			衣類の着替え等も保護者との連携により常時用意されており、緊急時の対応も考慮され、洗濯も即座に対応できるように配慮している。
(4) 健康管理						
14	1	日常の健康管理は適切である。	○			看護師による各種の体調チェック、また保護者連絡票による毎日の健康管理に取り組んでいる。定期的健康診断も実施しており、日常の健康管理は適切である。
15	2	必要な時、迅速かつ適切な医療が受けられる。	○			マニュアル整備を行い、緊急時の診療体制も地域内の医療機関との連携体制も整備されており、必要時の迅速で適切な医療体制は確保・整備されている。
16	3	内服薬・外用薬等の扱いは確実に行われている。	○			職員は年2回の総合カンファレンスにおいて、医師から薬に関する適切な情報を得ている。保護者からの書面(薬連絡票)による連絡・確認体制も確立されており、薬の保管、使用確認等の管理も徹底されている。
A-3 自立支援						
(1) 療育の実施						
17	1	子どもの発達段階に応じた適切な療育を実施している。	○			個別支援計画に基づき、担当者が必要な場合は看護師等と連携しつつ、個々の子どもの発達段階や心身の状況に応じた療育を実施している。
(2) 就学の支援						
18	1	子どもの就学について支援を行っている。	○			子どもの就学については保護者の意向を尊重している。市内の総合支援校2校への見学会(保護者対象)を実施しており、好評を得ている。就学に向けて十分に配慮した支援を行っている。